

第1日目プログラム <11月7日(水)>

研修-1号室 (地下3階) 収容人員120名		研修-2号室 (地下3階) 収容人員120名		B3-2会議室 (地下3階) 収容人員54名	
9:50					
10:00	開会式	10:00		10:00	【ポスターセッション】
10:00	【環境保全・省エネ対策】 (3編/60分) 座長： 西脇徹郎 27. 積雪寒冷地における建設施工のバイオディーゼル燃料適合性調査 ○平 伴齊、片野浩司、山口和哉 (独) 土木研究所寒地土木研究所	10:00	【災害、防災、復旧・復興(1)】 (3編/60分) 座長： 田中利昌 1. 河道閉塞災害への「呼び水サイフォン排水装置」の提案 起動力は「水の力」! ○馬淵和三 (岡山辰組) 岩佐直人 (日鐵住金建材株)、平松 研 (岐阜大学)		1. 自走式洗浄ロボットによる循環式除染洗浄システム 日進工業㈱ ○中光真史
10:20	28. 建設機械における省エネルギー化・排出ガスクリーン化の追求 次世代環境対応技術を搭載した油圧ショベルの開発 ○梅谷麻里香 (キャタビラージャパン株)	10:20	2. 土壌洗浄法による放射性物質汚染土壌の効率的な浄化と減容化 ○毛利光男、土田 充、中嶋卓磨 (清水建設株)		2. 次世代環境技術を搭載した油圧ショベル キャタビラージャパン株 ○桑田和扶
10:40	29. 油圧ハンマにおける打撃音低減の試み ○田中ゆう子、宮崎哲史、三輪 徹 (東亜建設工業株)	10:40	3. 携帯電話通信による超長距離遠隔操作実証実験の報告 ○野末 晃、三鬼尚臣、渋谷光男 (株フジタ)		
11:00	休憩 (10分)	11:00	休憩 (10分)		
11:10	【安全対策】 (3編/60分) 座長： 稲垣 孝 30. 連続地中壁施工時における隅角部の安定性 ○石井武司、齋藤邦夫 (中央大学)	11:10	【災害、防災、復旧・復興(2)】 (3編/60分) 座長： 増子文典 4. 建設機械遠隔操作の習熟に関する研究 建設機械の搭乗及び遠隔操作時における作業効率・精度に関する考察 ○茂木正晴、藤野健一、西山章彦 (独) 土木研究所		3. 河道閉塞災害への「呼び水サイフォン排水装置」の提案 岡山辰組 ○馬淵 剛
11:30	31. リアルタイムアラート伝達システム 安全情報のリアルタイム伝達システムの構築 ○岡山健次 (東亜建設工業株)	11:30	5. 災害対策用照明装置の開発 機動性と遠隔照射能力を有する災害現場対応の照明装置 ○佐野昌伴 (日本建設機械施工協会施工技術総合研究所) 平川良一、牧野千代春 (国土交通省九州技術事務所)		4. 重機災害撲滅のために開発したシステムのご紹介 ㈱アクティオ ○稲葉誠一
11:50	32. 100m以上の超高層建物における閉鎖型解体工法「テコレップシステム」の開発および実施適用 ○市原英樹、萱嶋 誠、梅津匡一 (大成建設株)	11:50	6. 既存施設直下地盤の液状化対策工法 -バルーングラウト工法- ○大野康年 (東亜建設工業株)		5. 現況地形3Dモデルと設計3Dモデルのデータ活用事例 ㈱コイシ ○白石さやか
12:10	休憩 (60分)				(コアタイム)
13:10	特別講演 (60分) 東日本大震災からの復旧、復興への取り組みについて -インフラ整備の視点から見た復旧、復興- 復興庁 参事官 尾澤卓思 様			13:10	6. 小型簡易支持力試験機(エレフット)の建設工事現場への適用 テック工業株 ○中山憲士
14:10	B2ホール (地下2階)				
14:20	【ICTの利活用(1)】 (4編/80分) 座長： 竹内幸弘 7. 多様な災害に向けた無人化施工技術の開発と適用 ICTを活用した多機・多数機械の遠隔操作 ○領木紀夫、川音一郎、伊東 真 (鹿島建設株)	14:20	【品質確保・コスト削減(1)】 (4編/80分) 座長： 藤野健一 20. 多機能型コンクリート舗装機械の開発 シリンダフィニッシュの多機能性検討 ○田中 純、平野 晃、関口 峰 (大成ロテック株)		7. 津波堆積物と廃木材チップを用いた機能性地盤材料の開発 東北大学大学院 ○東原弘樹
14:40	8. ネットワーク型 RTK-GNSS 測位方式を適用した3DMCの実用化 ○島田 拓、平野 晃、田中 純 (大成ロテック株)	14:40	21. 締固め作業におけるロール振動転圧機構と平面振動締固め機構の機能特性比較 ○福川光男 (鹿島道路株)		8. 情報化施工(3D-MC)最新機器の紹介 ㈱アコリテック ボジションジャパン ○木村徳宏
15:00	9. GPSを利用した超高層タワー鉛直精度管理技術の開発 ○池田雄一、田辺 潔、原田恒則 (㈱大林組)、	15:00	22. 締固め管理手法に基づく盛土のり面の品質評価とその現状 ○安福規之 (九州大学大学院) 谷山 充 (株浅川組)、小林泰三 (福井大学大学院)		9. カメラ式舗装高さ自動制御システムの開発 ㈱NIPPO ○大西秀樹
15:20	10. 同心円状レチクル内蔵TSの開発と斜杭打設システムへの応用 ○中庭和秀 (関西工事測量株) 矢吹信喜 (大阪大産)、阿部幸夫 (住友金属工業株)	15:20	23. 油圧ブレーカの打撃エネルギーを利用したバックホウによる法面締固め技術の開発 ○小林泰三 (福井大学大学院) 谷山 至 (株浅川組)、安福規之 (九州大学大学院)		10. カ仕事のパートナーとしてのコンパクト油圧式ロボット台車の提案 立命館大学 ○玄 相興
15:40	休憩 (10分)	15:40	休憩 (10分)		
15:50	【ICTの利活用(2)】 (3編/60分) 座長： 小栗賢一 11. 衛星測位技術「RTK-GNSS」の出来形計測精度の確保方策の検討 ○梶田洋規、北川 順、重高浩一 (国土交通省国土技術政策総合研究所)	15:50	【品質確保・コスト削減(2)】 (3編/60分) 座長： 宮武一郎 24. 打撃破壊方式による岩盤切断機(インパクトカッター)の開発 ○重松尚久 (呉工業高等専門学校) 松浦一正 (株松浦建設)、小田 登 (株スターロイ)		
16:10	12. 小型締固め機械に搭載された加速度応答システムの適用性(砂質土・礫質土においての実験結果) ○橋本 毅、藤野健一 (独) 土木研究所 山口達也 (鹿島道路株)	16:10	25. 超低空襲場所打杭工法の開発と駅改良工事への現場導入 ○竹田茂嗣 (鉄建建設株) 和田旭弘、小池 明 (東日本旅客鉄道株)		
16:30	13. 舗装工の施工管理における効率的ICT活用について ○小川拓人、二瓶正康、坂本鋼三 (国土交通省関東地方整備局)	16:30	26. 地下ダム施工における地盤評価装置の開発 ○近藤高弘 (大成建設株)		
16:50	移動 (10分)	16:50	移動 (10分)	16:50	
17:00	懇親会 (レストラン・ニューターキョー: 地下3階) 17:00~18:30				

※ プログラムは変更となる場合がありますので予めご了承下さい。

第2日目プログラム <11月8日(木)>

研修-1号室 (地下3階) 収容人員120名		研修-2号室 (地下3階) 収容人員120名		B3-2会議室 (地下3階) 収容人員54名	
9:50	【ICTの利活用(3)】 (3編/60分) 座長：前原信之 1 4. 億首ダム本体建設工事におけるダムICT施工総合管理システムの適用 ○江田正敏、松本三千緒、片山三郎 (大成建設㈱)	9:50	【維持・管理・補修(1)】 (3編/60分) 座長：溝口孝遠 3 3. 分粒装置付きロードスタビライザの開発「ストーンセパレータの紹介」 ○端 孝之、木下洋一 (鹿島道路㈱)	10:00	【ポスターセッション】 1. 自走式洗浄ロボットによる循環式除染洗浄システム 日進工業㈱ ○中光真史
10:10	1 5. 情報化施工における準天頂衛星(みちびき)を用いたRTK測位の精度検証について ○黒台昌弘 (㈱間組)	10:10	3 4. 画像診断によるコンクリートの点検、劣化調査技術の開発と適用 ○久保昌史、ファン ウォック、前田敏也、(清水建設㈱)	2. 次世代環境技術を搭載した油圧ショベル キャビテーション㈱ ○桑田和扶	
10:30	1 6. 情報化施工技術を活用した工事の成績評価結果の分析 ○渡辺健一、塚原隆夫、市村靖光 (国土交通省国土技術政策総合研究所)	10:30	3 5. TSを用いた出来形管理を活用した埋設物管理手法の検討 ○北川 順、梶田洋規、重高浩一 (国土交通省国土技術政策総合研究所)		
10:50	休憩 (10分)	10:50	休憩 (10分)		
11:00	【ICTの利活用(4)】 (3編/60分) 座長：行川恒弘 1 7. シールドトンネルのプロダクトモデルの開発と応用 ○矢吹信喜 (大阪大学) 有賀貴志 (㈱コンポート)、古屋 弘 (㈱大林組)	11:00	【維持・管理・補修(2)】 (1編/20分) 座長：竹之内博行 3 6. 河川ポンプ設備における状態監視技術に関する研究 ○上野仁士、藤野健一、竹田英之((独)土木研究所)		3. 河道閉塞災害への「呼び水サイフォン排水装置」の提案 ㈱山辰組 ○馬場 剛
11:20	1 8. ICTを用いた盛土の新たな施工管理手法について ○島田光之 (国土交通省関東技術事務所)	11:20	【施工技術総合研究所発表】 (2編/40分) S 1. 蛇腹式防水シートの開発 ○鈴木健之 研究一部 (一般社団法人日本建設機械施工協会施工技術総合研究所)		4. 重機災害撲滅のために開発したシステムのご紹介 ㈱アクティオ ○稲葉誠一
11:40	1 9. 情報化施工現場における問題事例の整理 ○技術委員会 ((社)日本機械土工協会)	11:40	S 2. 橋梁のコンクリート床版防水システムに関する研究 ○榎園正義 研究第二部 (一般社団法人日本建設機械施工協会施工技術総合研究所)		5. 現況地形3Dモデルと設計3Dモデルのデータ活用事例 ㈱コイシ ○白石さやか
12:00	休憩 (60分)		6. 小型簡易支持力試験機(エレフット)の建設工事現場への適用 フォックス工業㈱ ○中山憲士		
13:00	【維持・管理・補修(3)】 (2編/40分) 座長：中島嘉之 3 7. 電磁誘導加熱による鋼橋の塗膜剥離工法に関する研究 ○小野秀一 (日本建設機械施工協会施工技術総合研究所) 吉川 博、岡部次美 (首都高メンテナンス東京東㈱)	13:00			【施工技術総合研究所発表】 (2編/40分) 座長：竹之内博行 S 3. ICT搭載型無人化施工機械の施工性検証試験結果について ○鈴木勇治 研究第三部 (一般社団法人日本建設機械施工協会施工技術総合研究所)
13:20	3 8. 車載型移動体3次元計測データを用いた道路維持管理手法の検討について ○横山隆明 (立命館大学) 番上勝久 (㈱アスコ)、建山和由 (立命館大学)	13:20	S 4. 地盤振動の伝達経路対策振動低減効果 ○齊藤聡輔 研究第四部 (一般社団法人日本建設機械施工協会施工技術総合研究所)		7. 津波堆積物と廃木材チップを用いた機能性地盤材料の開発 東北大学大学院 ○栗原弘樹
13:40	休憩 (10分)	13:40	休憩 (10分)		8. 情報化施工(3D-MC)最新機器の紹介 ㈱トアコフ ドシツコンダツヤ ○木村徳宏
13:50	平成22年度研究開発助成対象成果報告 電磁界を利用した高張力ボルトの緩み検査センサの開発 ○後藤雄治 (大分大学 工学部機械・エネルギーシステム工学科 准教授)		9. カメラ式舗装高さ自動制御システムの開発 ㈱NIPPO ○大西秀樹		
13:50	柔軟な力制御によるミニショベル掘削作業の知能化に関する調査研究 ○玄 相昊(立命館大学 工学部ロボティクス学科 准教授)				
14:20	B2ホール(地下2階) 休憩 (10分)				
14:50	パネルディスカッション 『岐路に立つ無人化施工』 ○コーディネーター:立命館大学 理工学部 教授 建山 和由 氏 ○パネラー: 芝浦工業大学 工学部 教授 油田 信一 氏 一般財団法人砂防・地すべり技術センター 企画部長 田村 圭司 氏 無人化施工協会 会長 植木 睦央 氏 (鹿島建設㈱) 土木学会建設用ロボット委員会代表 小委員長 北原 成郎 氏 (㈱熊谷組) 国土交通省公共事業企画調整課 企画専門官 宮武 一郎氏		10. 力仕事のパートナーとしてのコンパクト油圧式ロボット台車の提案 立命館大学 ○玄 相昊		
15:00	B2ホール(地下2階)				
16:40	表彰式 (20分) B 2 ホール (地下 2 階)				
17:00					

※ プログラムは変更となる場合がありますので予めご了承下さい。